

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<b>試料・情報の利用目的及び利用方法</b>	<b>研究の名称</b> 匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベースを用いた、本邦における COVID-19 の臨床的特徴と予後に関する後ろ向き調査
	<b>研究の対象</b> 匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベースに登録されている以下の方 ・2020年から2023年にCOVID-19と診断された方 ・2017年から2023年にインフルエンザと診断された方 ・2016年から2023年において基礎疾患を有する方
	<b>研究の目的</b> COVID-19は、"SARS-CoV-2"による感染症であり、2019年末以降、短期間で全世界に広がりました。本邦においても、他国同様COVID-19が広がっております。COVID-19は、高齢者や心疾患・糖尿病などの基礎疾患を有する患者さんにおいて重篤化のリスクが高いとされていますが、本邦における疫学的な検討は十分ではありません。特に、びまん性肺疾患などの呼吸器疾患を併存症として有する患者さんは、インフルエンザをはじめとするウイルス感染症の重篤化の高リスク群と考えられておりますが、COVID-19がそれらの患者さんの予後に与える影響はよくわかっておりません。 この研究では、匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベースに登録されたCOVID-19の患者さんのデータと、同じウイルス感染症であるインフルエンザの患者さんのデータを用いて、本邦におけるびまん性肺疾患等の基礎疾患を有するCOVID-19患者さんの臨床的な特徴や予後、発症リスク因子を明らかにすることを目的とします。
	<b>研究の期間</b> 研究機関の長による実施承認日から2026年1月28日まで

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	で
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	研究に使用する試料・情報 情報：診断日、年齢、性別、病名、治療歴、合併症、予後等
利用する者の範囲	機関名および責任者名 浜松医科大学 内科学第二講座 教授 須田 隆文
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	研究責任者 浜松医科大学 内科学第二講座 教授 須田 隆文
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	本研究で用いる情報は匿名化されており、特定の個人に遡ることができません。そのため、患者さんや患者さんの代理人の方がお問い合わせいただいても、研究の対象になっているかを判断することができませんが、可能な範囲で研究計画書や関連資料を閲覧いただく等対応いたしますので、お申し出ください。
資料の入手または閲覧	この研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。お問い合わせ先まで、ご連絡ください。
情報の開示	本研究で用いる情報は匿名化されており、特定の個人に遡ることができないため、お問い合わせがあっても、原則的に結果は開示いたしません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 内科学第二講座 担当者： 穂積宏尚 TEL： 053-435-2263